

各位

2013年10月11日

KNT－CTホールディングス株式会社  
総務部（広報） 担当：立花  
TEL：03－6891－6839

旅行取扱状況の概観（平成25年8月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)とKNT個人旅行、KNT個人旅行販売、クラブツーリズム、KNT北海道、KNT東北、KNT中国四国、KNT九州、ユナイテッドツアーズ、KNT商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、学生団体は前年比106.9%と前年を上回ったが、一般団体は昨年のロンドンオリンピックの影響もあり同64.5%と前年を下回り、団体旅行合計で同85.3%であった。企画旅行については、東アジアやエジプト方面をはじめとして不調であり、前年比89.4%、個人旅行については、同87.1%であった。

この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比87.9%であった。

国内旅行の取り扱い、一般団体は前年比121.2%、学生団体は同118.4%となり、団体旅行合計で同120.0%と前年を大きく上回った。企画旅行についても前年を上回り同103.2%、個人旅行についても同103.2%と前年を上回った。

この結果、国内旅行総取扱額としては、105.3%と前年を上回った。

外国人旅行は、前年比142.6%と前年を大幅に上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の8月の総取扱額は前年比99.5%と、ほぼ前年と同水準であった。

【主要会社の状況】

1. 近畿日本ツーリスト株式会社

海外団体については、一般団体は昨年のロンドンオリンピック需要の反動が大きく、前年比62.9%となった一方で、学生団体は同107.3%と前年を上回った。この結果、海外旅行合計で同87.1%と前年を下回った。

国内団体については、一般団体は伊勢志摩方面への需要増加を取り込み、前年比122.7%と大きく伸長し、学生団体も同118.6%と前年を大きく上回った。この結果、国内旅行合計で同109.8%と前年を上回った。

2. 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

メイトは、取扱人数で前年比90.0%、取扱額で前年比97.4%と前年を下回った。方面別取扱人数の状況では、伊勢志摩、中国四国方面などが前年を大きく上回ったほか、東北、首都圏、沖縄方面などが好調である。

ホリデイは、販売割合が高い東アジア方面を中心として全般的に不調であり、特に中国方面については引き続き大きく低迷している。ヨーロッパ方面は復調傾向にあるものの、各方面とも低価格帯商品のラインナップを縮小させた影響もあり、取扱人数、取扱額とも前年を下回った。

3. クラブツーリズム株式会社

海外旅行部門は、東アジア、エジプトに代表される外的リスクの影響を受けつつも、アメリカ、オセアニア方面やクルーズ商品が好調を維持しており、全般的にはほぼ前年水準を維持した。

バス旅行を除く国内旅行部門は、北海道方面のファミリー向け商品が好調であったほか、全国各地の祭りや花火などの夏の定番商品が好調であり、前年比115.6%と大きく上回った。バス旅行部門も前年を上回った。

テーマ旅行部門はひとり旅やハイキング・登山が好調で、前年比116.5%と大きく伸長した。

以上